

プログラム

12月7日(木) 第1会場(ホール棟 1F ホール)

14:10~15:40 国際分子甲状腺シンポジウム

座長：鳴海 覚志(慶応義塾大学医学部 小児科)

- IS-1 The indispensable role of thyroid hormone during development in the maintenance of cerebellar function in adulthood
Ayane Ninomiya (Department of Integrative Physiology, Graduate School of Medicine, Gunma University)
- IS-2 Genotype-phenotype correlations in 30 Japanese patients with *TG* defect
Kanao Tanase-Nakao (Department of Molecular Endocrinology,
National Research Institute for Child Health and Development)
- IS-3 Endocrine-disrupting potential of 3,3',5-triiodothyroacetic acid (TRIAC)
Ichiro Yamauchi (Department of Diabetes, Endocrinology and Nutrition, Kyoto University Graduate School of Medicine)

16:00~17:30 専門医教育セミナー 1

座長：光武 範吏(長崎大学)
菅間 博(那須医科学研究所)

- E1-1 甲状腺髄様癌
田原 信(国立がん研究センター東病院)
- E1-2 現在と今後の甲状腺癌に対する内用療法について—放射性ヨウ素内用療法を中心に—
野口 靖志(野口病院)
- E1-3 甲状腺癌の病理—分化型高異型度癌・低分化癌・未分化癌を中心に—
今村 好章(福井大学附属病院 病理診断科/病理部)

12月7日(木) 第2会場(会議棟2F 大集会室)

14:10~15:00 一般演題①:バセドウ病 その他

座長：谷 淳一(医療法人野口記念会 野口病院)
大江 秀美(名古屋甲状腺診療所)

- O1-1 放射性ヨウ素内用療法を行った自験バセドウ病の長期予後
村上 司(野口記念会 野口病院 内科)
- O1-2 当院の外来バセドウ病¹³¹I内用療法(500MBq以下)の治療成績と至適甲状腺重量の評価
吉村 蘭(伊藤病院 内科)
- O1-3 ¹³¹I治療後に甲状腺ホルモン値の著明な乱高下を繰り返すバセドウ病の一例
宮本 高秀(宮本内科クリニック)
- O1-4 バセドウ病に対する術前の甲状腺機能コントロールの現状について
友田 智哲(伊藤病院)
- O1-5 当院における終末期Basedow病患者の抗甲状腺薬の管理状況
杉澤 千穂(昭和大学藤が丘病院 内科(糖尿病・代謝・内分泌))

15:00~15:50 一般演題②: 基礎・臨床研究

座長: 鈴木 幸一 (帝京大学医療技術学部)
森下 啓明 (愛知医科大学医学部内科学講座 糖尿病内科)

- O2-1 成人甲状腺癌にEpstein-Barrウイルスの関与
島影 美鈴 (無所属)
- O2-2 甲状腺濾胞細胞においてTSHとTgは硫酸転移酵素Sult1a1の発現を抑制する
中村 康宏 (帝京大学 薬学部 薬学教育推進センター)
- O2-3 水素ガス吸入による橋本病をはじめとする自己免疫疾患改善の可能性
市川 祐介 (MiZ株式会社 研究開発部)
- O2-4 先天性甲状腺機能低下症の原因別甲状腺ホルモンバランスについての検討
久門 真子 (医療法人神甲会 隈病院 内科)
- O2-5 小児若年者における甲状腺結節形成と下垂体-甲状腺ホルモン系調節成熟化の関連について
鈴木 聡 (福島県立医科大学医学部 甲状腺内分泌学講座/福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター)

12月7日(木) 第3会場(会議棟 3F 大会議室)

14:10~15:40 ハンズオンセミナー

山谷 幸恵 (福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター)